



## 綺麗な音色を楽しむ

～スタインウェイ演奏体験会～



▲姉妹で連弾を楽しみました

市民会館で、「スタインウェイ演奏体験会」を開催しました。スタインウェイ社のピアノは世界中のピアノニストに愛される世界最高峰のピアノです。

この催しは昨年度から開催され、1組30分の持ち時間で自由に演奏ができるものです。今年度も定員の10組がすぐに埋まる盛況ぶりでした。家族で参加し、ハンドベルやリコーダーを合わせたミニコンサートを楽しんだ岩沼西小5年の佐藤紅羽さんは「とてもきれいな音だった」と嬉しそうに話しました。

## 選挙の大切さ学ぶ

～選挙出前講座～



▲実際に投票する生徒たち

岩沼西中学校で、選挙の概要を説明する「出前講座」が行われました。3年後に選挙権を得る中学3年生を対象としたもので、実際の選挙の仕組みや歴史を学び、知識を深めました。

講座の中では、実際の記載台や投票箱を使っての「模擬投票」も行われ、初めての投票体験に生徒たちは、緊張している様子でした。参加した生徒は「今まで選挙に関心がなかったが、今回の講座のおかげで興味を持つことができた。18歳になったら生かしたい」と話しました。

## 鬼は外、福は内

～ちよっと早い豆まき会～



▲鬼に手作り豆を投げて退治しました

みなみプラザで、南児童館が主催する乳幼児親子事業「おやこの広場」が行われ、17組36人の親子が参加しました。

大きな金棒を片手にした鬼がやってくる、子どもたちの「ギャー」という叫び声とお母さんたちの笑い声がホールにあふれました。子どもたちは福の神の力を借りて、お母さんと一緒に手作り豆で一発懸命に鬼退治をしました。無事鬼は降参し、仲良くなった証しに「鬼のパンツ」の体操と一緒に踊りました。鬼が帰ってからは、みんなで甘納豆を食べ、ホッと一息つきました。

## 産前産後のセルフケア学ぶ

～プレママ講座～



▲実際に体を動かさず参加者の皆さん

保健センターで開催した「プレママ講座」に、初めて妊娠された方やお子さん連れの経産婦さん計10名が参加しました。

参加者は、市の管理栄養士や保健師による健康講話、インストラクターによるセルフコンディショニング（軽体操）で産前産後のセルフケアについて学びました。体を動かした後はお茶を飲みながらの交流会が行われ、何かと不安が多い妊娠中に、先輩ママから直接話を聞くことができ、情報交換もできる良い機会となりました。



イベントや身近なできごとを紹介します。情報がある場合は、さわやか市政推進課(☎内線643・644)にご連絡ください。

## 尾花沢市で雪かき支援

「スノーバスター」職員派遣

1月27日、東日本大震災時の支援に恩返しをしようと、今年で6回目になる「スノーバスター」(岩沼市社会福祉協議会主催)に市内外から48人が参加し、友好都市の尾花沢市の1人暮らしの高齢者宅などで雪かき作業をしました。

また、2月5日には、平均積雪深が約2メートルと例年に比べ豪雪のため、尾花沢市に高齢世帯からの除雪援助要請が多いことから、災害時相互応援協定を締結している岩沼市に支援要請があり、岩沼市職員21人を派遣。尾花沢市民の生活支援と安全確保に向けて、同様に除雪作業を行いました。



▲積雪量が2メートルを超える中、作業する様子

## 大切なものは命、平和、教育

「永遠瑠マリールイズさん講演会」

岩沼中学校で、NPO法人ルワングの教育を考える会の永遠瑠マリールイズさんを講師に招き、中学1、2年生と岩沼南小の6年生、約310人が命の尊さや平和の大切さを学びました。

ルワング共和国出身のマリールイズさんは、内戦時の辛い状況や日本への留学経験を生かした支援活動について話し、当時の厳しさを振り返りながら、「ここにいる一人ひとりの命が一番大切」と児童、生徒に訴えかけました。

また、市民図書館では、「ルワング写真展」が開催されました。



▲「教育は発展と平和へのカギ」と語るマリールイズさん

## 震災を忘れないために

「新春講演会」

玉浦コミュニティセンターで、玉浦地区コミュニティ推進協議会主催の「新春講演会」が開催され、約80人の地区住民が参加しました。

講師には、仙台放送アナウンサーの梅島三環子さんを招き、「震災から学んだ『伝えたい』思い」というテーマで話をしていただきました。梅島さんは報道人として伝えたい思い、伝える事ができなかった思いを話されました。

参加した方は、震災に関する話を真剣な眼差しで聞いていました。



▲梅島さんの話を真剣に聞く住民の皆さん

## 海外派遣への準備進む

「ドーバー市訪問団」

岩沼中学校で、友好都市であるアメリカ合衆国デラウェア州ドーバー市へ派遣される生徒らが、ALT(外国人指導助手)から英会話を学びました。

第19回岩沼市中学生海外派遣事業として、3月12日〜23日の日程で市内4中学校から生徒10人と引率職員2人が、ドーバー市などを訪れることになっていきます。

生徒らは、昨年の10月から日本文化を英語で紹介するなど、出発へ向けた事前研修を重ねています。現地では、学校での交流会やホームステイなどを体験する予定です。



▲ALTと英会話の練習をする様子